

令和4年度「歯科保健関係者研修会」(ハイブリッド形式)実施要領

1. 目的： 県民歯と口の健康プラン推進のため、歯科保健事業や歯科保健活動に従事する指導者や職員の歯科保健に関する正しい理解を深める。
2. 主催： 富山県・富山県歯科医師会
3. 後援： 富山県教育委員会・富山県学校保健会
4. 日時： 令和4年8月25日(木) PM1:30～3:30 予定
5. 受講方法： ①オンライン受講
(選択) **※感染対策として出来るだけオンライン配信をご活用ください。**
②会場受講
富山県歯科医師会館(富山市五福字五味原2741-2)
※ご来館の際は、マスクの着用をお願いします。
※都合により会場受講出来ない場合のみ、本会より後日ご連絡致します。

①オンライン受講を視聴の方へ

以下のWEBサイトにアクセスしてください。(Zoom等のWEB会議アプリは使いません)

視聴 URL

<https://happyfes.tda8020.com/dentalhealth>
パスワード：8020



②会場受講の方へ

新型コロナウイルス対策のお願い

- ・研修会受講は、ご自身の健康状態と所属医療機関等の状況を踏まえて判断をしてください。
- ・ご来館の際は、マスクの着用をお願いします。体調不良があれば受講をご遠慮ください。また、キャンセルをされる際は、本会までご連絡ください。
- ・会場の換気に伴う寒暖については、衣服等にて調整をお願いします。

※新型コロナウイルスの感染状況等によっては、内容に変更が生じる場合があります。

6. 対象者： 歯科医師、歯科衛生士、市町村・厚生センター職員（保健師、栄養士）
養護教諭、その他地域歯科保健活動に従事している者

7. 研 修：

【テーマ】 ～口は履歴書～ こどもの口はふしぎがいっぱい

【講 師】 国立モンゴル医科大学 歯学部 客員教授 岡崎 好秀 先生

8. 講演抄録：

1980年代、ある学校保健に熱心な医師から「戦争後、食物がなく抵抗力がなかった時代は、乳幼児の感染症が多く死亡率も高かった。しかし次々と抗生物質が開発され、感染症は駆逐された。このままでは、小児期の病気はなくなるのではないかと思った。しかし、それに代わり“アレルギー性疾患”や“心の病”が増えてきた。病気には、それぞれの時代に潜む問題が現れている」といわれた。

続けて「学校で健康診断をしていると、子どもの頃には、かつてあったとは思えない“おかしい状態”が目につく。例えば、“骨盤の発達が悪く、トレパンがずれ落ちる”、“つまずいたとき、とっさに手が出ず、顔をケガする”、“姿勢が悪い”、“朝礼で倒れる”、“低体温”など数えればきりが無い。医師や教師がおかしいと思っても、子ども自身はなにも不自由さを感じていない。これらは医学的にも病名をつけられない（検査結果は正常）が、放置すれば将来さまざまな病気を引き起こす可能性がある。学校医は、これを見逃してはならない。例えば口腔領域において、内科検診で喉を診ると傷がある。これは学校給食でフライが提供された日に多いように思う。しかし同時に、ここに傷のある者は唾液が少ないのではないかと・・・と疑いを持ちながら診ることにしている。歯科医師は、齶蝕や歯周病にとどまらず、わずかな口腔の変化についても診ていただきたい」といわれた。

まだまだ齶蝕が多かった時代だったので、もし減少したら、次にどんな問題が起こるのか全く予測できなかった。

さて現在、小児期の齶蝕は減少したものの、気になる問題がたくさん現れている。

ある中学校で養護教諭から「学校の歯科検診を受けていない生徒が6名いるので見て欲しい。」と依頼された。2名は、検診当日病欠だった生徒で問題はない。

しかし残りの4名は、多量の歯垢が付着し、重症齶蝕があった。他の生徒と比べ、まったく異質の口腔であった。そこで彼らの様子を聞くと、「いつ学校来て、いつ帰るのかわからないので困っている。給食だけを食べて来ている感じです。」と嘆いていた。彼らの日常生活行動や家庭環境が、そのまま口に現れているのである。

また過剰なスポーツドリンクの宣伝による思春期齶蝕の多発。さらには不正咬合の増加、唾液分泌量の減少、滑舌の低下、口呼吸に代表される口腔機能発達不全など数えればきりが無い。私は、口は食べ物が入る最初の場所であるから“食べ物が変われば、初に変わるのが口”だと考え診療にあたってきた。

子どもの口は、その時代や生活環境を映し出す鏡といえる。今回は、子どもを取り巻く環境の変化と、口腔との関係について考えてみたい。

どうして医者が病気について



東京帝国大学医学校
初代内科学 教授 青山胤道

聞かれたら恥なのか？

もし園遊会で、
他の招待客から病気について尋ねられたら、
諸君は恥をかいだと思
いなさい。

主な内容

- 1：こどもの心に貯金をして帰す
- 2：東京帝国大学医学校 青山胤道教授の医学生への言葉。
- 3：時間軸から口腔内を診るということ
- 4：これまで出会った“最も不自然な5歳児の口”
- 5：「人は褒められて初めて自分の良さに気がつき、愛されて人を愛することができ、認められて心にゆとりを持つことができる」

故 渡辺和子先生

- 6：3歳のチンパンジーにバナナを与えると
- 7：“家”の語源は“竈（かまど）”
- 8：エッセンとフレッセン
- 9：単独の生き物 Vs. 集団の生き物
- 10：この中に赤色のこいのぼりは何匹いますか？

この中に赤色はいくつありますか？



それでは青色は？

9. 講師略歴等：

国立モンゴル医学科学大学 歯学部 客員教授

(元岡山大学病院 小児歯科 講師) 岡崎 好秀

1978年 愛知学院大学歯学部卒業

同年 大阪大学歯学部小児歯科を経て

1984年～2014年 岡山大学病院 小児歯科講師(歯学博士 岡山大学)

2013年4月～ 国立モンゴル医学科学大学 客員教授

2018年4月～2020年3月 岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター 診療講師

【専門】 小児歯科・障がい児歯科・健康教育

【所属学会等】 日本小児歯科学会(指導医)、
日本障害者歯科学会(認定医、評議員)、
日本口腔衛生学会(認定医)、
禁煙科学会(学術委員)、
国際歯科学士会(ICD)会員

【主な著書】

- ①世界最強の歯科保健指導 上巻・中巻クインテッセンス出版
- ②口の中はふしぎがいっぱい エピソードⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 松風
- ③小児歯科診療最前線！ 子どもを泣かさない17の裏ワザ クインテッセンス出版
- ④カミカミおもしろ 唾液学 少年写真新聞社
- ⑤クイズで語る おもしろ防煙教育最前線 東山書房
- ⑥歯科医から見た食育 東山書房
- ⑦謎解き口腔機能学 クインテッセンス出版
- ⑧泣かずにすませる小児歯科診療 松風 他 多数

【FAXお申込み用 076-442-4013】

令和4年度「歯科保健関係者研修会」(ハイブリッド形式)受講申込書

※なるべくWEBフォーム経由でお申込みいただくと幸いです。

<https://sgfm.jp/f/r4tda125>



お勤め先

お勤め先の市町村

市 ・ 町 ・ 村

受講申込される方についてご記入ください。

職 種	ふりがな お 名 前	受講方法 どちらかを選択してください	メールアドレス (必須)
		オンライン受講	
		会場受講	
		オンライン受講	
		会場受講	
		オンライン受講	
		会場受講	
計	名	※感染対策として、出来るだけオンライン配信のご視聴をお願いします。 配信の視聴が難しい場合は、ご来館ください。	

開催に変更等が生じた場合等にもご連絡致しますので、必ずメールアドレスをご記入ください。

- 申込み先 〒930-0887 富山市五福五味原2741-2
一般社団法人 富山県歯科医師会
【TEL】076-432-4466 【FAX】076-442-4013 【E-mail】post@tda8020.com
【Web】<https://www.tda8020.com>
- 申込み締切 令和4年8月15日(月)まで